

浜松湖西豊橋道路

環境影響評価準備書に関する説明会

<次第>

- 挨拶
- 環境影響評価準備書について
- 質疑応答



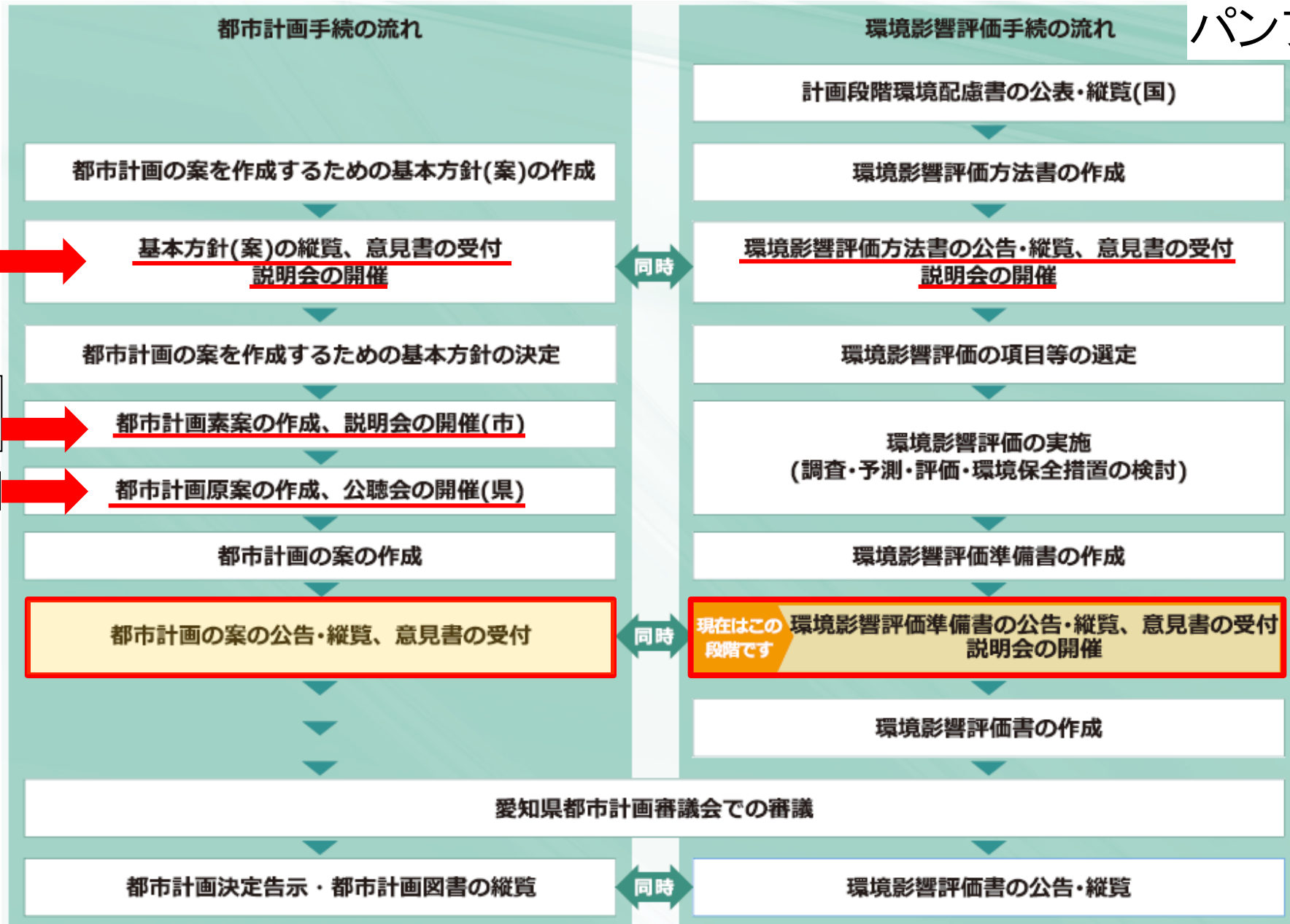
浜松湖西豊橋道路 環境影響評価準備書について

2026年7月



都市計画及び環境影響評価の手続き

パンフレット:裏面

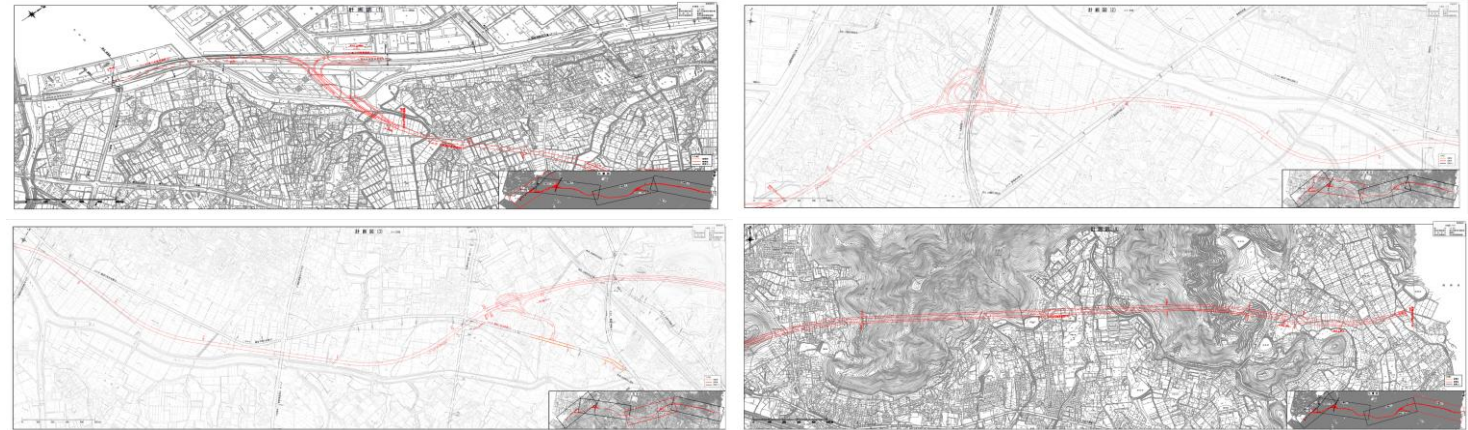


都市計画の案 縦覧図書

都市計画図書

名称	縮尺	枚数
計画書	1/2,500	1葉
総括図	1/20,000	1葉
計画図	1/2,500	4葉

計画図



都市計画図書 参考図面

名称	縮尺	枚数
平面図	1/2,500	5葉
標準断面図	1/200	6葉
縦断面図	V: 1/200 H: 1/2,500	28葉
交差点計画図	平面: 1/500 横断: 1/150	3葉

平面図

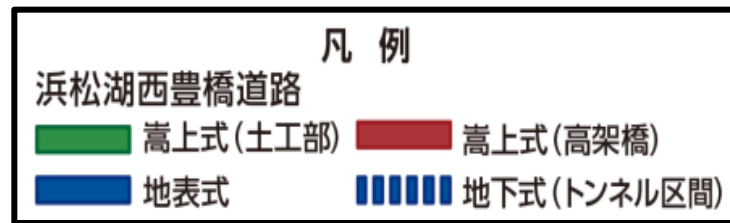


都市計画の案の概要 位置図



平面図(西側)

平面図(東側)



都市計画の案の概要 平面図(西側)



至三ヶ日JCT

都市計画の案の概要 平面図(東側)



至三河港IC(仮称)

至三ヶ日JCT



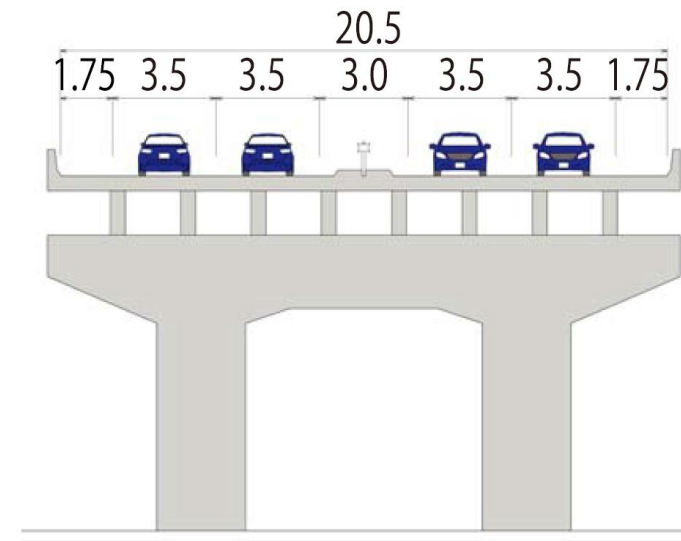
都市計画の案の概要 事業内容等

パンフレット：P2・3・4

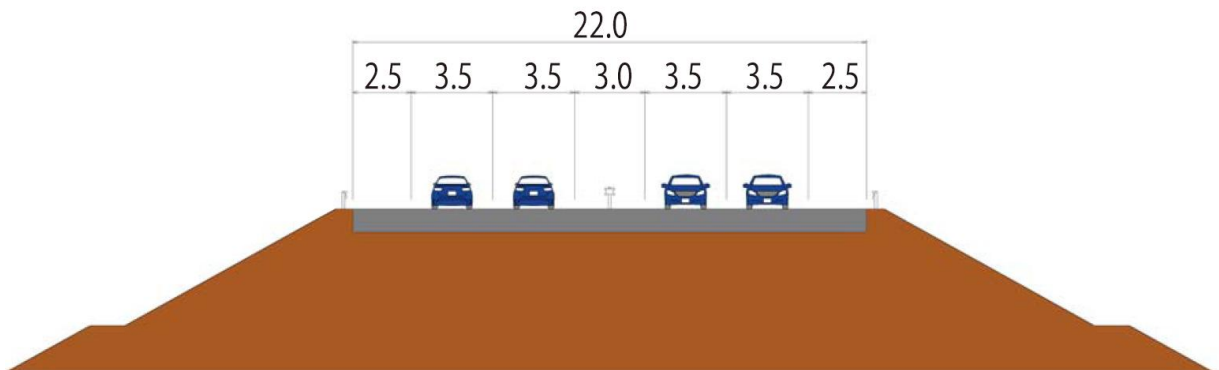
計画概要

都市計画対象道路事業の名称		東三河都市計画道路 1・4・3号 浜松湖西豊橋道路
都市計画決定権者の名称		愛知県
都市計画対象道路事業の内容	種類	高速自動車国道または一般国道 (自動車専用道路)の新設
	規模	延長：約 14.1km(左記の他、接続ランプ延長約 1.1km)
	車線の数	4車線
	設計速度	80km/h
	道路区分	第1種第3級 (自動車専用道路)

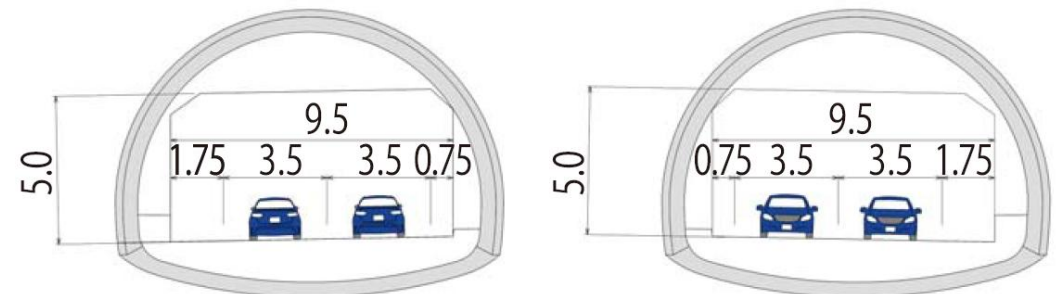
嵩上式(高架橋)



嵩上式(土工部)



地下式(トンネル)



環境影響評価準備書について

東三河都市計画道路1・4・3号 浜松湖西豊橋道路

環境影響評価準備書

令和8年6月

愛知県

環境影響評価準備書

東三河都市計画道路1・4・3号 浜松湖西豊橋道路

環境影響評価準備書要約書

令和8年6月

愛知県

環境影響評価準備書要約書

・法律に定められた準備書の要約版

東三河都市計画道路1・4・3号

浜松湖西 豊橋道路 (愛知県区間)



環境影響評価準備書のあらまし



環境影響評価準備書のあらまし

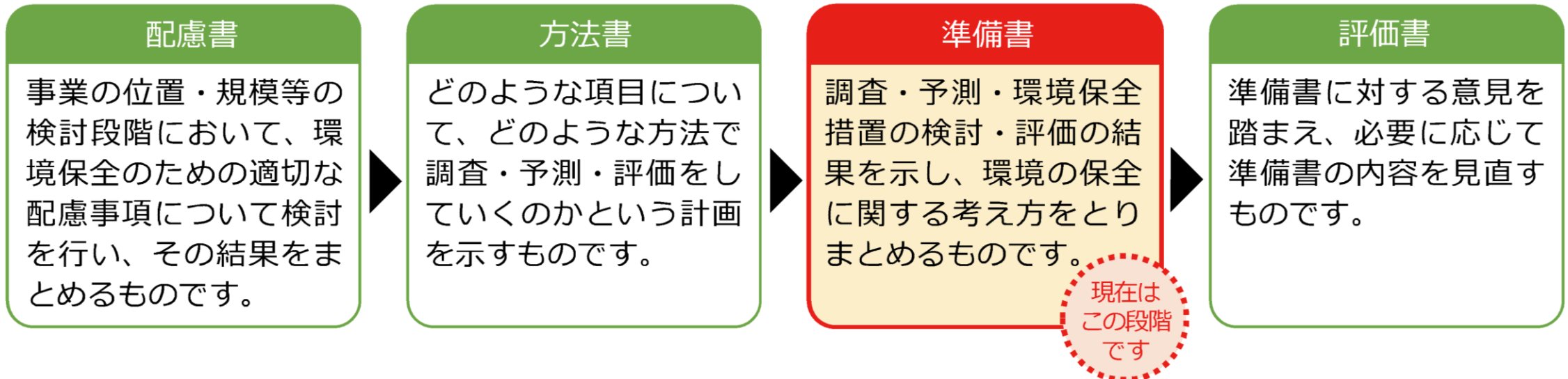
・図などを用いて準備書の概要を説明

環境影響評価(環境アセスメント)とは

パンフレット:P1

- 規模が大きく環境影響の程度が著しいものとなるおそれのある開発事業の内容を決めるに当たって、環境にどのような影響を及ぼすのかについて、調査・予測・環境保全措置の検討・評価を行い、その結果を公表して一般の方々、地方公共団体などから意見を聴き、それらを踏まえて環境の保全の観点からよりよい事業計画(都市計画)を作り上げていこうという制度です。

■ 環境影響評価に関する図書



環境影響評価項目-1

パンフレット:P6

環境要素の区分		影響要因の区分		工事の実施					土地又は工作物の存在及び供用				
				建設機械の稼働	の用資材及び機材の運搬に 運 行 車 両 (工 事 用 車 両)	既切土の工事又は 工作物の除去	工事施工ヤードの設置	工 事 用 道 路 等 の 設 置	掘削工事、 トンネル工事の実施	道路(地表式)の存在	道路(高上式)の存在	道路(地下式)の存在	自動車の走行
環境の自然的構成要素の良好な状態の保持を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	大気環境	大気質	二酸化窒素 浮遊粒子状物質	○	○								○
			粉じん等	○	○								
		騒音	騒音	○	○								○
		振動	振動	○	○								○
		低周波音	低周波音										○
	水環境	水質	水の濁り				○						
		地下水の水位	地下水の水位						○			○	
		河川	河川の変化						○			○	
	土壌に係る環境その他の環境	地形及び地質	重要な地形及び地質				○			○			
		地盤	地盤沈下						○			○	
その他の環境要素		日照障害							○				

※1 ○: 選定した項目

※2 この表は、国土交通省令、県条例などに基づき作成しています。

環境影響評価項目-2

パンフレット:P6

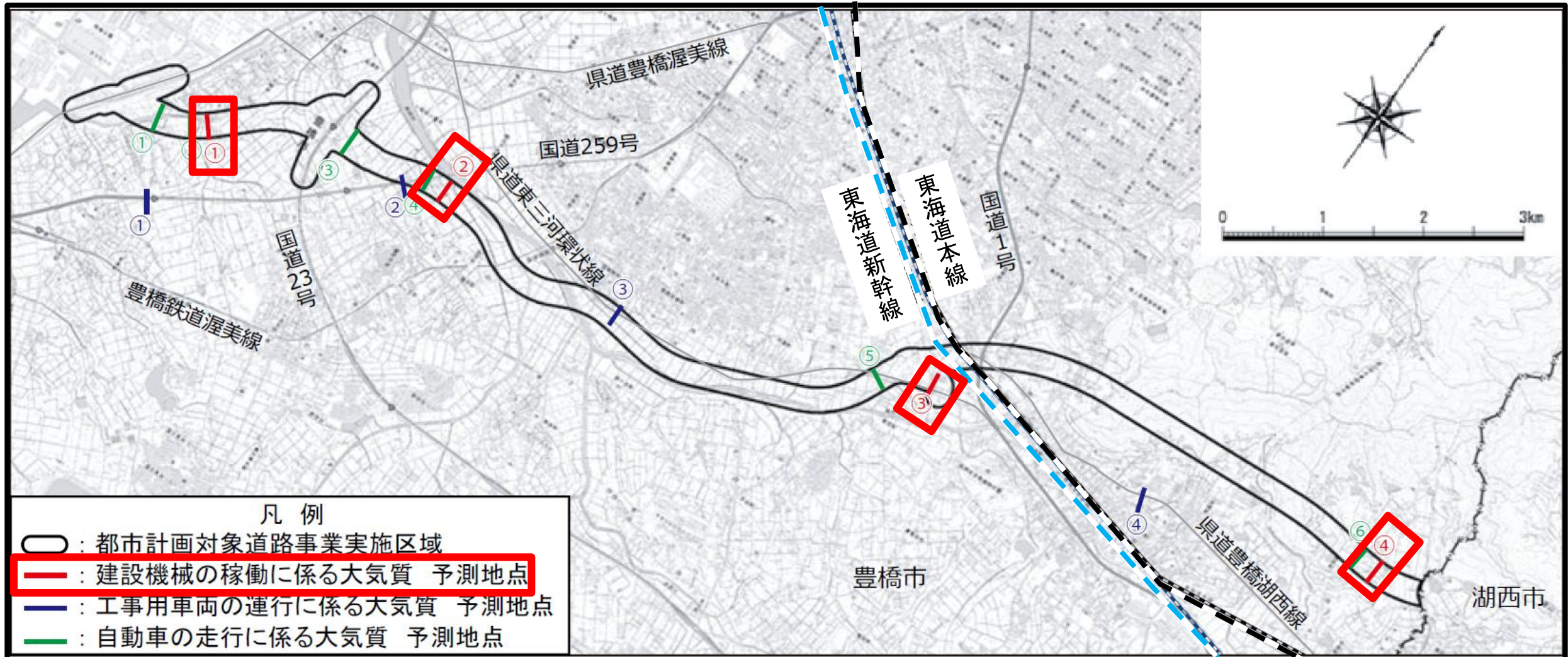
環境要素の区分	影響要因の区分		工事の実施					土地又は工作物の存在及び供用			
			建設機械の稼働	資材の運搬(工事用車両)	既存の工事又は工作物の除去	工事施工ヤードの設置	工事用道路等の設置	掘削工事、トネル工事の実施	道路(地表式)の存在	道路(高上式)の存在	道路(地下式)の存在
生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	動物	重要な種及び注目すべき生息地	○			○	○	○	○		
	植物	重要な種及び群落				○	○	○	○		
	生態系	地域を特徴づける生態系	○			○	○	○	○		
人と自然との豊かな触れ合いの確保を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	景観	主要な眺望点及び景観資源並びに主要な眺望景観				○			○		
	人と自然との触れ合いの活動の場	主要な人と自然との触れ合いの活動の場				○			○		○
		地域の歴史的文化的特性を生かした環境の状況				○			○		
環境への負荷の量の程度により予測及び評価されるべき環境要素	廃棄物等	建設工事に伴う副産物			○						
	温室効果ガス等	温室効果ガス等	○								

※1 ○: 選定した項目

※2 この表は、国土交通省令、県条例などに基づき作成しています。

大気質の予測地点：建設機械の稼働

パンフレット：P7・上



大気質：建設機械の稼働 パンフレット：P9

- 建設機械の稼働に伴う二酸化窒素、浮遊粒子状物質は、基準又は目標、参考となる値以下になると予測されます。
- 粉じんに関する影響は、環境保全措置として「散水」を実施することにより、基準又は目標の値以下になると予測されます。

番号	予測地点		二酸化窒素 (ppm)		浮遊粒子状物質 (mg/m ³)		粉じん等 (t/km ² /月)	
			日平均値 の年間 98%値	基準又は 目標	日平均値 の年間 2%除外値	基準又は 目標	季節別降下 ばいじん量	参考 となる値
1	豊橋市大崎町谷洞	南側	0.022	0.04 ~ 0.06 のゾーン内 又はそれ以下	0.0390	0.10 以下	0.8 ~ 0.8	10 以下
2	豊橋市植田町	北側	0.022		0.0390		0.2 ~ 1.0	
3	豊橋市藤並町西側	南側	0.019		0.0329		0.8 ~ 0.8	
4	豊橋市雲谷町上ノ山	北側	0.016		0.0412		[0.2 ~ 4.6] 0.9 ~ 17.0	

※1 [] 内の数値は、環境保全措置を講じた値です。

大気質の予測地点：工事用車両の運行

パンフレット：P7・上



大気質：工事中車両の運行 パンフレット：P9

- ・工事中車両の運行に伴う二酸化窒素、浮遊粒子状物質及び粉じん等は、基準又は目標、参考となる値以下になると予測されます。

番号	予測地点		二酸化窒素 (ppm)		浮遊粒子状物質 (mg/m ³)		粉じん等 (t/km ² /月)	
			日平均値 の年間 98%値	基準又は 目標	日平均値 の年間 2%除外値	基準又は 目標	季節別降下 ばいじん量	参考 となる値
1	豊橋市老津町山ノ神	西側	0.022	0.04～0.06 のゾーン内 又はそれ以下	0.039	0.10 以下	0.2～1.9	10 以下
		東側	0.022		0.039		0.7～2.0	
2	豊橋市植田町東畑	西側	0.021		0.039		0.1～1.8	
		東側	0.022		0.039		1.0～2.5	
3	豊橋市西高師町津森	北側	0.019		0.037		0.7～5.0	
		南側	0.019		0.037		2.2～5.6	
4	豊橋市大岩町東郷内	北側	0.018		0.033		0.3～1.8	
		南側	0.018		0.033		0.5～1.6	

大気質の予測地点：自動車の走行

パンフレット：P7・上



大気質：自動車の走行

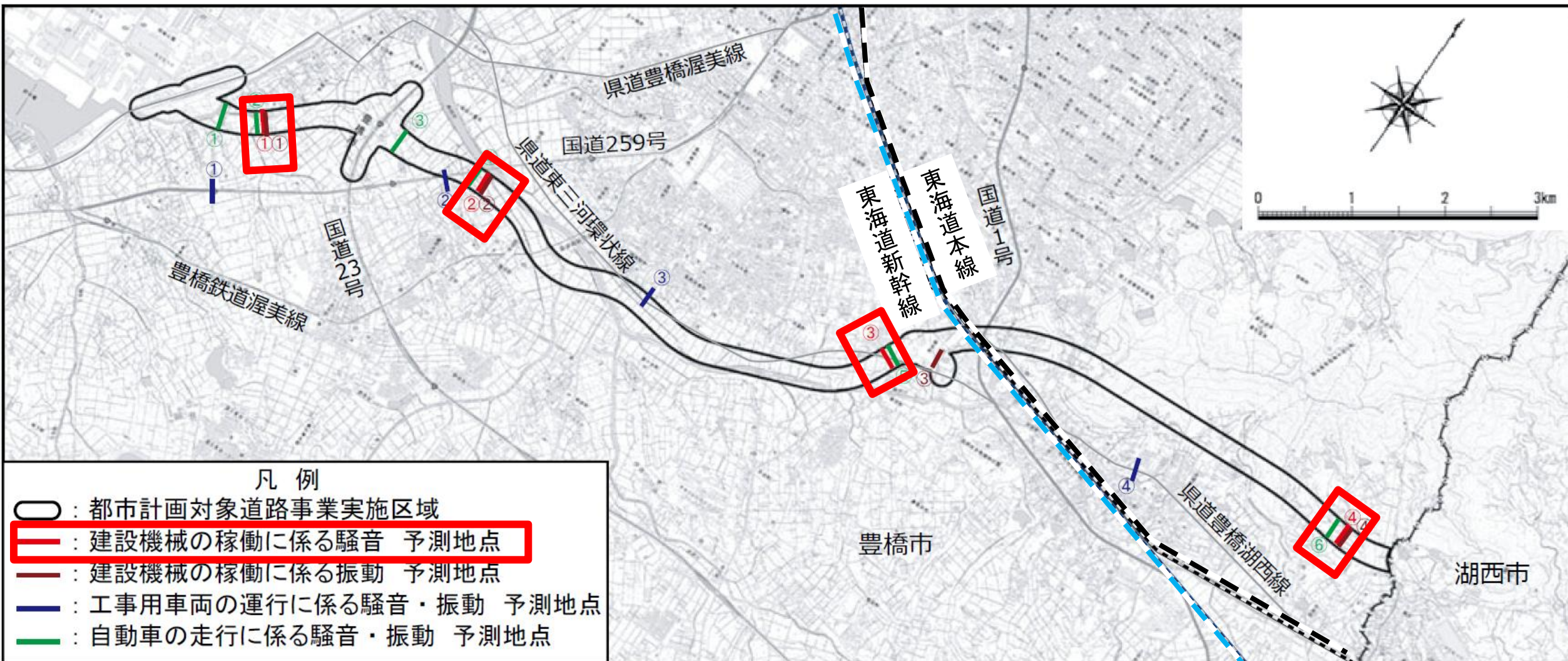
パンフレット：P10

- 自動車の走行に伴う二酸化窒素及び浮遊粒子状物質は、基準又は目標の値以下になると予測されます。

番号	予測地点		二酸化窒素 (ppm)		浮遊粒子状物質 (mg/m ³)	
			日平均値 の年間 98%値	基準又は 目標	日平均値 の年間 2%除外値	基準又は 目標
1	豊橋市老津町波入江	北側	0.0219	0.04 ~ 0.06 のゾーン内 又はそれ以下	0.0390	0.10 以下
		南側	0.0219		0.0390	
2	豊橋市大崎町谷洞	北側	0.0215		0.0389	
		南側	0.0215		0.0389	
3	豊橋市船渡町上ノ山	北側	0.0215		0.0389	
		南側	0.0216		0.0389	
4	豊橋市植田町	北側	0.0216		0.0390	
		南側	0.0217		0.0389	
5	豊橋市藤並町	北側	0.0175		0.0327	
		南側	0.0179		0.0327	
6	豊橋市雲谷町上ノ山	北側	0.0153		0.0411	
		南側	0.0151		0.0411	

騒音の予測地点：建設機械の稼働

パンフレット：P7・中



- 建設機械の稼働に伴う騒音は、環境保全措置として「防音シートなどの遮音対策」を講じることにより、基準又は目標の値以下になると予測されます。

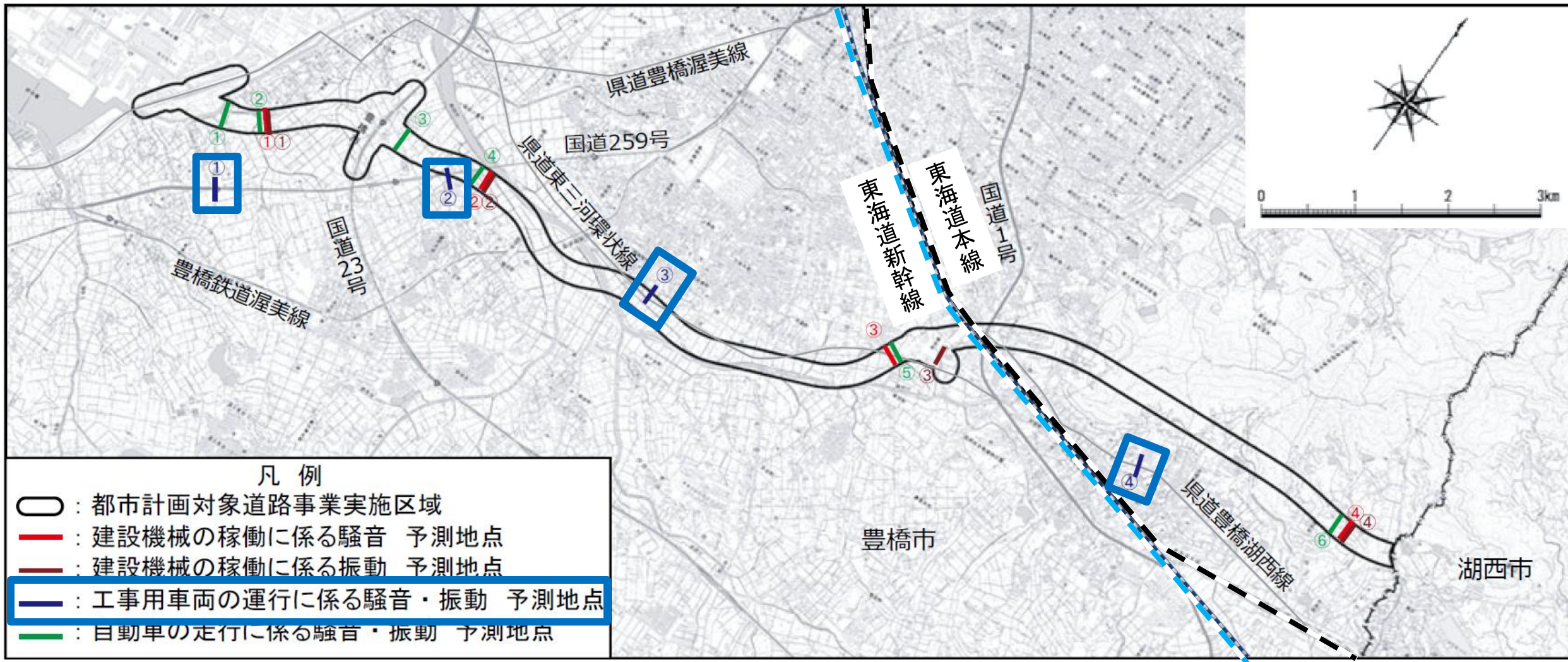
[単位 : dB]

番号	予測地点		騒音レベル (L_{A5} 又は $L_{A,Fmax,5}$)	基準又は 目標
1	豊橋市大崎町谷洞	南側	83	85 以下
2	豊橋市植田町	北側	91[81]	
3	豊橋市藤並町	北側	92[82]	
4	豊橋市雲谷町上ノ山	北側	76	

※1 [] 内の数値は、環境保全措置を講じた値です。

騒音の予測地点：工事用車両の運行

パンフレット：P7・中



騒音：工事用車両の運行 パンフレット：P11

- 工事用車両の運行に伴う騒音は、基準又は目標の値以下になると予測されます。

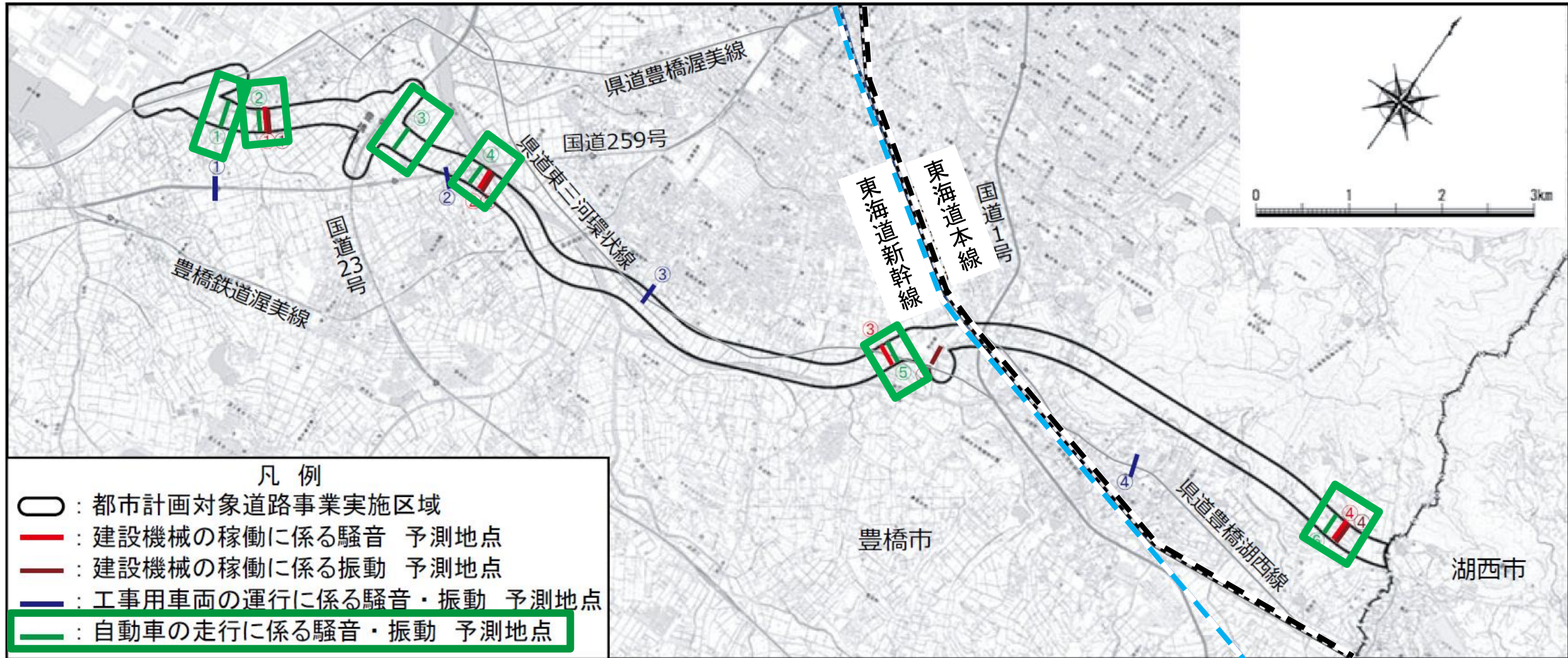
[単位：dB]

番号	予測地点		現況値	等価騒音 レベル (L_{Aeq})	基準 又は 目標
1	豊橋市老津町山ノ神	西側	69	69	70 以下
		東側		69	
2	豊橋市植田町東畑	西側	64	64	
		東側		64	

番号	予測地点		現況値	等価騒音 レベル (L_{Aeq})	基準 又は 目標
3	豊橋市西高師町津森	北側	70	70	70 以下
		南側		70	
4	豊橋市大岩町東郷内	北側	68	68	
		南側		68	

騒音の予測地点：自動車の走行

パンフレット：P7・中



騒音：自動車の走行-1

パンフレット：P12

- 自動車の走行に伴う騒音は、基準又は目標の値以下になると予測されます。

[単位：dB]

番号	予測地点		予測高さ(m)	道路境界からの距離(m)	等価騒音レベル (L_{Aeq})			
					昼間		夜間	
					予測結果	基準又は目標	予測結果	基準又は目標
1	北側	近接空間	4.2	0	63	70 以下	57	65 以下
			1.2	0	62		56	
		背後地	4.2	20	62	65 以下	56	60 以下
			1.2	20	61		55	
	南側	近接空間	4.2	0	61	70 以下	55	65 以下
			1.2	0	60		54	
		背後地	4.2	20	60	65 以下	54	60 以下
			1.2	20	60		54	
2	北側	近接空間	4.2	0	60	70 以下	54	65 以下
			1.2	0	59		53	
		背後地	4.2	20	60	65 以下	54	60 以下
			1.2	20	59		53	
	南側	近接空間	4.2	0	60	70 以下	54	65 以下
			1.2	0	59		53	
		背後地	4.2	20	60	65 以下	54	60 以下
			1.2	20	59		53	
3	北側	近接空間	4.2	0	63	70 以下	57	65 以下
			1.2	0	62		56	
		背後地	4.2	20	61	65 以下	55	60 以下
			1.2	20	60		53	
	南側	近接空間	4.2	0	65	70 以下	59	65 以下
			1.2	0	60		54	
		背後地	4.2	20	62	65 以下	56	60 以下
			1.2	20	59		53	

騒音：自動車の走行-2 パンフレット：P12

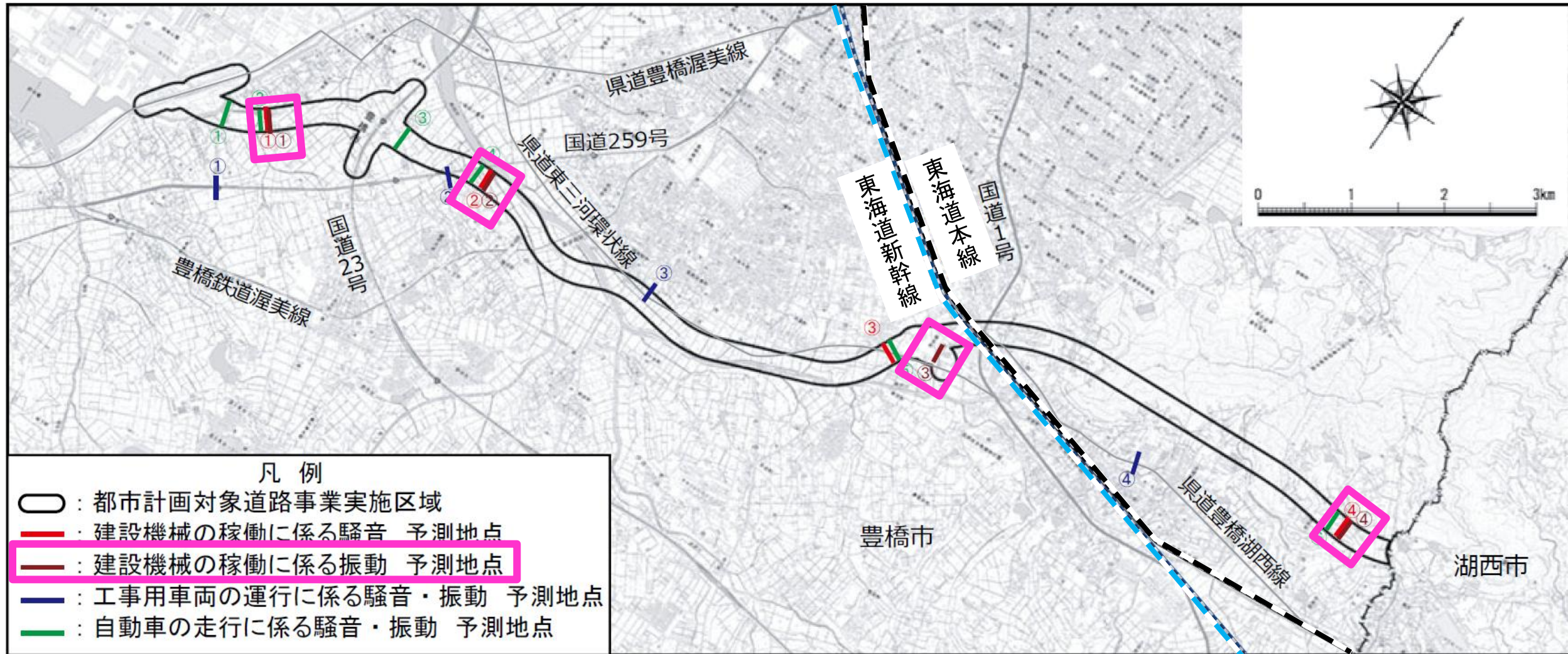
- 自動車の走行に伴う騒音は、基準又は目標の値以下になると予測されます。

[単位 : dB]

番号	予測地点		予測高さ (m)	道路境界からの距離 (m)	等価騒音レベル (L_{Aeq})				
					昼間		夜間		
					予測結果	基準又は目標	予測結果	基準又は目標	
4	豊橋市植田町	北側	近接空間	4.2	0	60	70 以下	53	65 以下
				1.2	0	60		53	
			背後地	4.2	20	61	65 以下	54	60 以下
				1.2	20	61		54	
		南側	近接空間	4.2	0	58	70 以下	51	65 以下
				1.2	0	58		51	
			背後地	4.2	20	58	65 以下	50	60 以下
				1.2	20	57		51	
5	豊橋市藤並町	北側	近接空間	4.2	0	68	70 以下	62	65 以下
				1.2	0	63		57	
			背後地	4.2	20	63	65 以下	57	60 以下
				1.2	20	61		55	
		南側	近接空間	4.2	0	67	70 以下	61	65 以下
				1.2	0	60		53	
			背後地	4.2	20	63	65 以下	57	60 以下
				1.2	20	61		55	
6	豊橋市雲谷町上ノ山	北側	近接空間	4.2	0	64	70 以下	58	65 以下
				1.2	0	56		50	
			背後地	4.2	20	56	65 以下	50	60 以下
				1.2	20	52		46	
		南側	近接空間	4.2	0	66	70 以下	60	65 以下
				1.2	0	58		52	
			背後地	4.2	20	58	65 以下	52	60 以下
				1.2	20	53		47	

振動の予測地点：建設機械の稼働

パンフレット：P7・中



- 建設機械の稼働に伴う振動は、基準又は目標の値以下になると予測されます。

[単位：dB]

番号	予測地点		振動レベル (L_{10})	基準又は目標
1	豊橋市大崎町谷洞	南側	57	75 以下
2	豊橋市植田町	北側	63	
3	豊橋市藤並町西側	南側	63	
4	豊橋市雲谷町上ノ山	北側	45	

振動：工車用車両の運行 パンフレット：P13

- 工車用車両の運行に伴う振動は、基準又は目標の値以下になると予測されます。

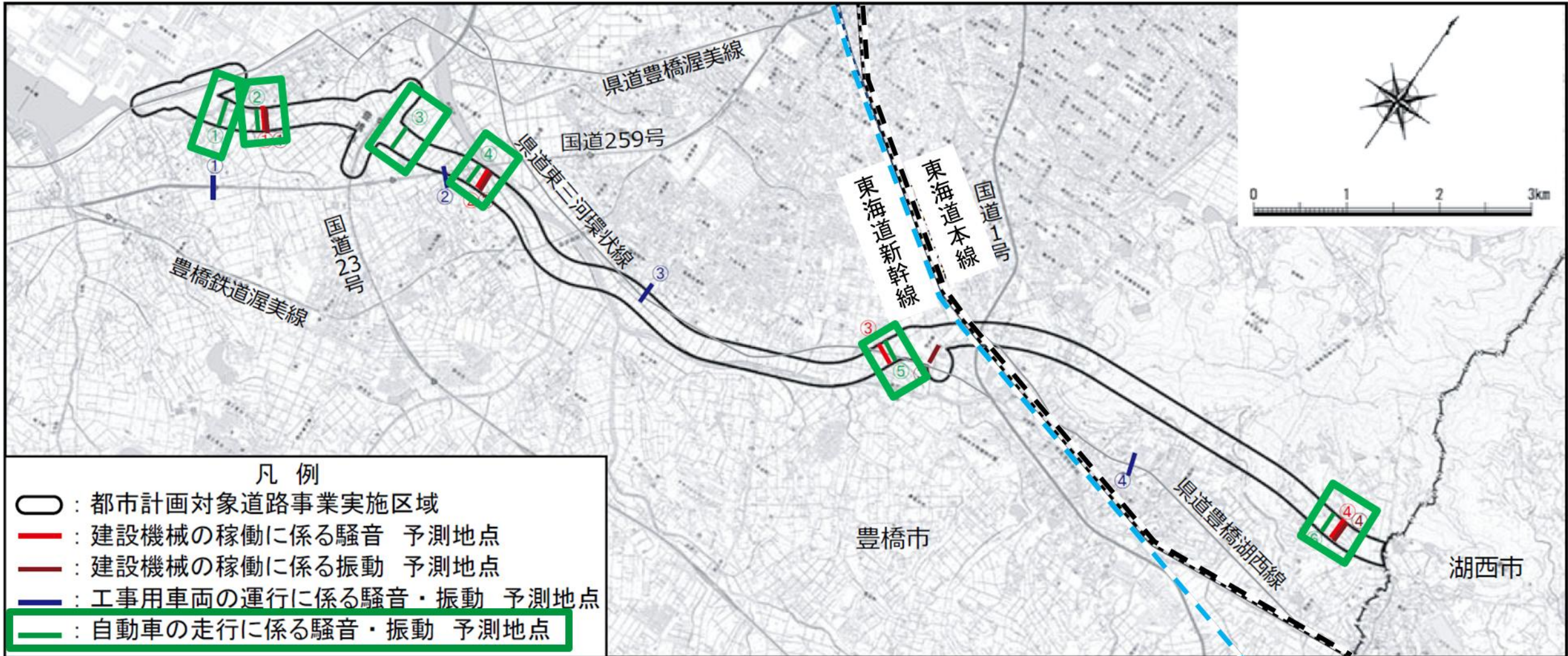
[単位：dB]

番号	予測地点		区域の区分	振動レベル (L_{10})	基準又は目標
1	豊橋市老津町山ノ神	西側	第2種区域	47	70以下
		東側		47	
2	豊橋市植田町東畑	西側		34	
		東側		34	

番号	予測地点		区域の区分	振動レベル (L_{10})	基準又は目標
3	豊橋市西高師町津森	北側	第2種区域	35	70以下
		南側		35	
4	豊橋市大岩町東郷内	北側	第1種区域	45	65以下
		南側		45	

振動の予測地点：自動車の走行

パンフレット：P7・中



- 自動車の走行に伴う振動は、基準又は目標の値以下になると予測されます。

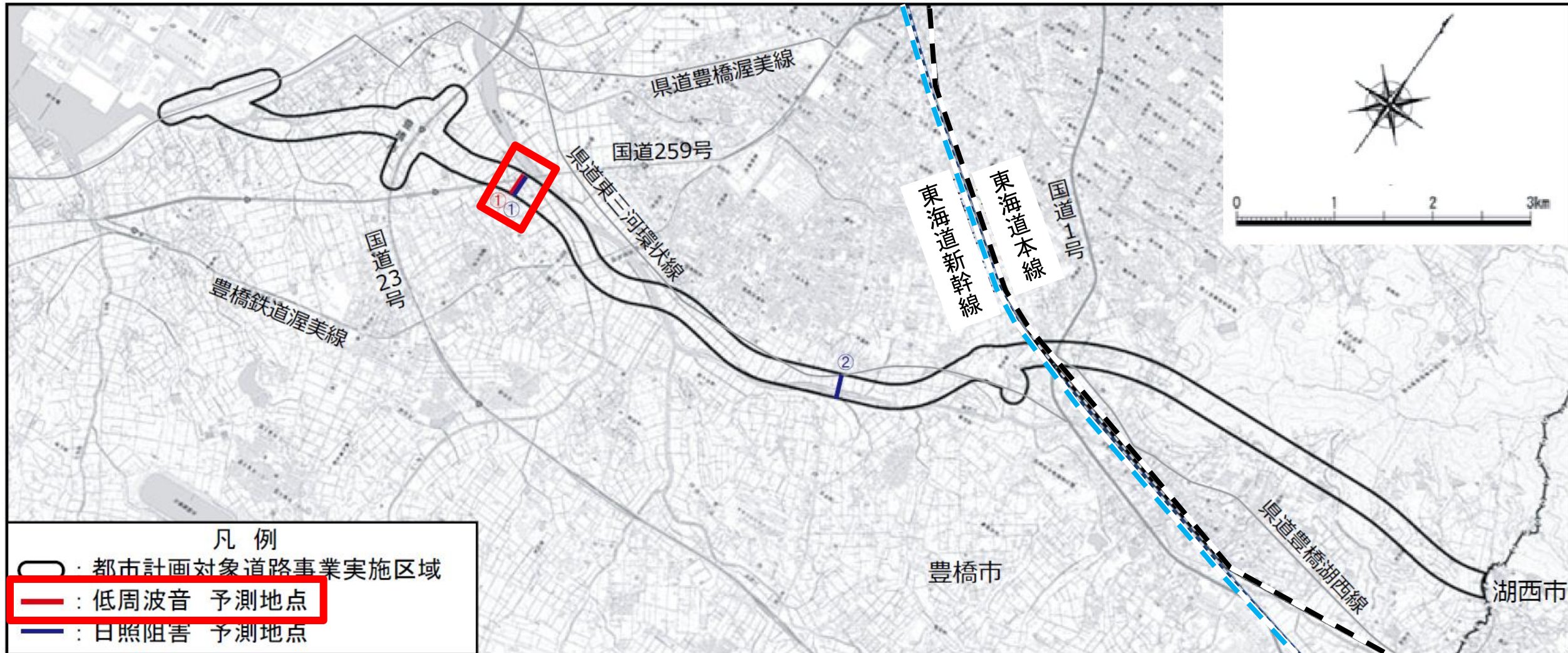
[単位：dB]

番号	予測地点		区域の 区分	振動レベル (L_{10})			
				昼間		夜間	
				予測 結果	基準 又は 目標	予測 結果	基準 又は 目標
1	豊橋市老津町波入江	北側	第2種 区域	40	70 以下	39	65 以下
		南側		43		42	
2	豊橋市大崎町谷洞	北側		40		39	
		南側		40		39	
3	豊橋市船渡町上ノ山	北側		42		41	
		南側		45		44	

番号	予測地点		区域の 区分	振動レベル (L_{10})			
				昼間		夜間	
				予測 結果	基準 又は 目標	予測 結果	基準 又は 目標
4	豊橋市植田町	北側	第2種 区域	45	70 以下	44	65 以下
		南側		45		44	
5	豊橋市藤並町	北側		45		44	
		南側		47		46	
6	豊橋市雲谷町上ノ山	北側		42		41	
		南側		43		42	

低周波音の予測地点

パンフレット:P7・下



低周波音：人の耳には感知し難い低い周波数（一般に100Hz以下）の空気の振動をいいます。

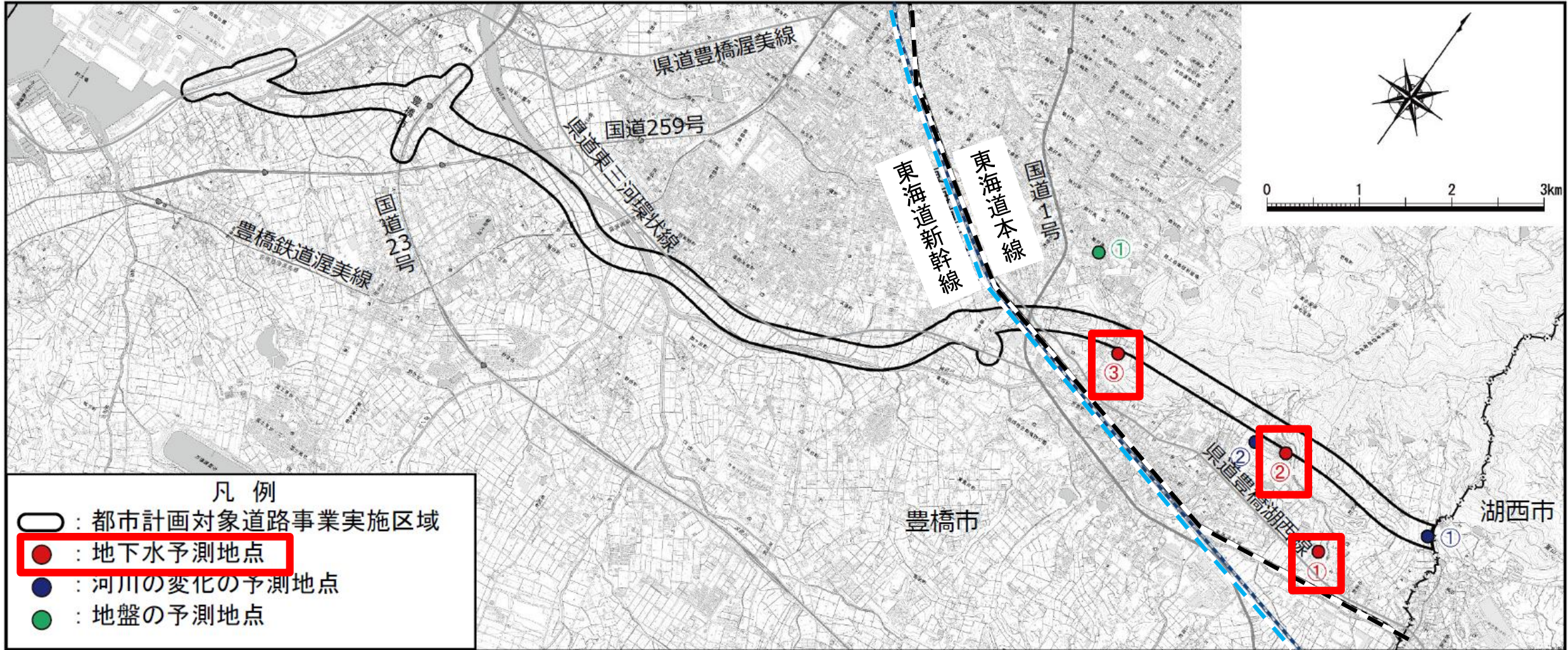
低周波音：自動車の走行 パンフレット：P15

- 自動車の走行に伴う低周波音は、参考となる値以下になると予測されます。

[単位：dB]

番号	予測地点	1～80Hzの 50%時間率 音圧レベル (L_{50})	1～20Hzの G特性5%時間率 音圧レベル (L_{G5})	参考 となる値
1	豊橋市植田町	73	81	L_{50} : 90 L_{G5} : 100

- 水質の影響は、地形の改変による裸地の発生を極力抑えるとともに、必要に応じて沈砂池等を設けるため、極めて小さいと予測されます。

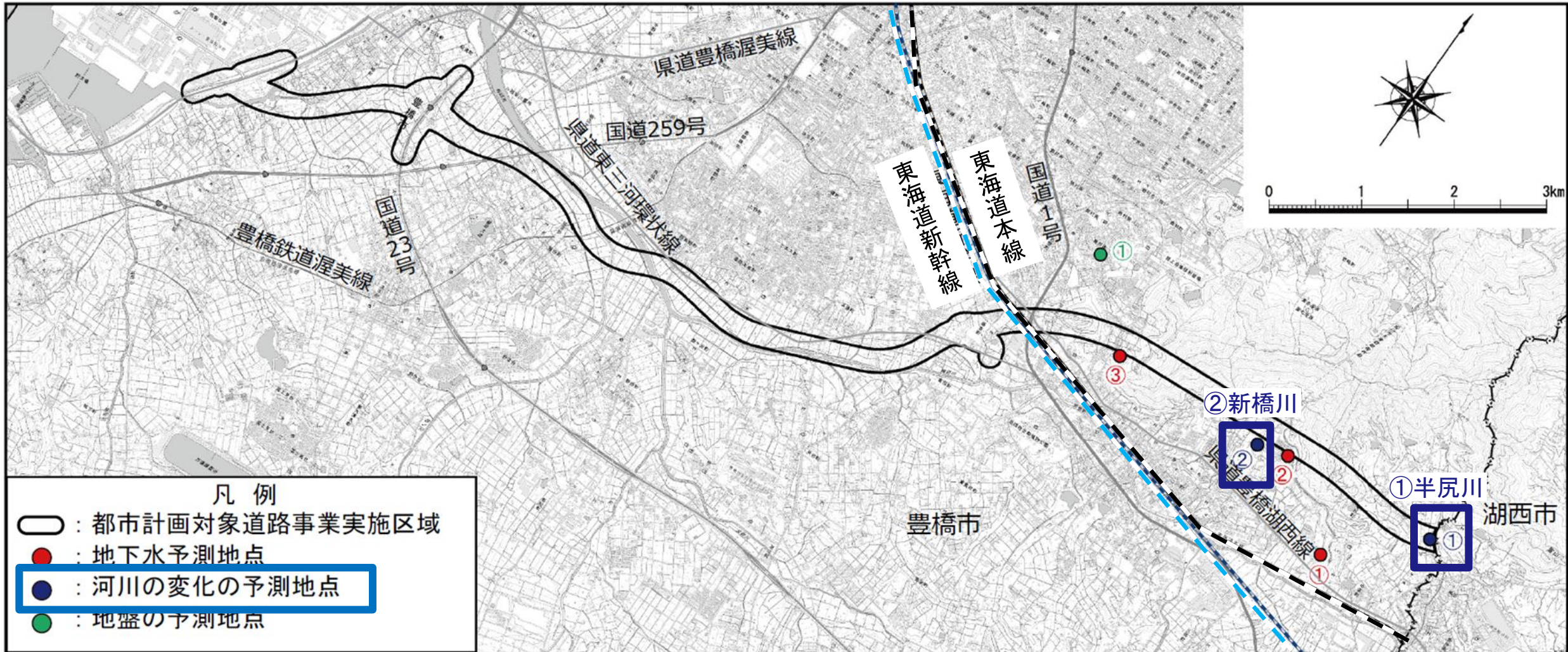


- 予測地点の井戸における地下水位の低下は生じないと予測されます。

番号	地点名	地下水位 [EL.m]			変化幅 [m]
		工事前	工事中	供用後	
1	井戸 1	33.67	33.67	33.67	0.00

- トンネル周辺の予測地点における湧水量の低下が予測されるため、環境保全措置として「観測修正法による最適な工法の採用」を実施することにより、地下水の水位への影響をできる限り回避又は低減します。

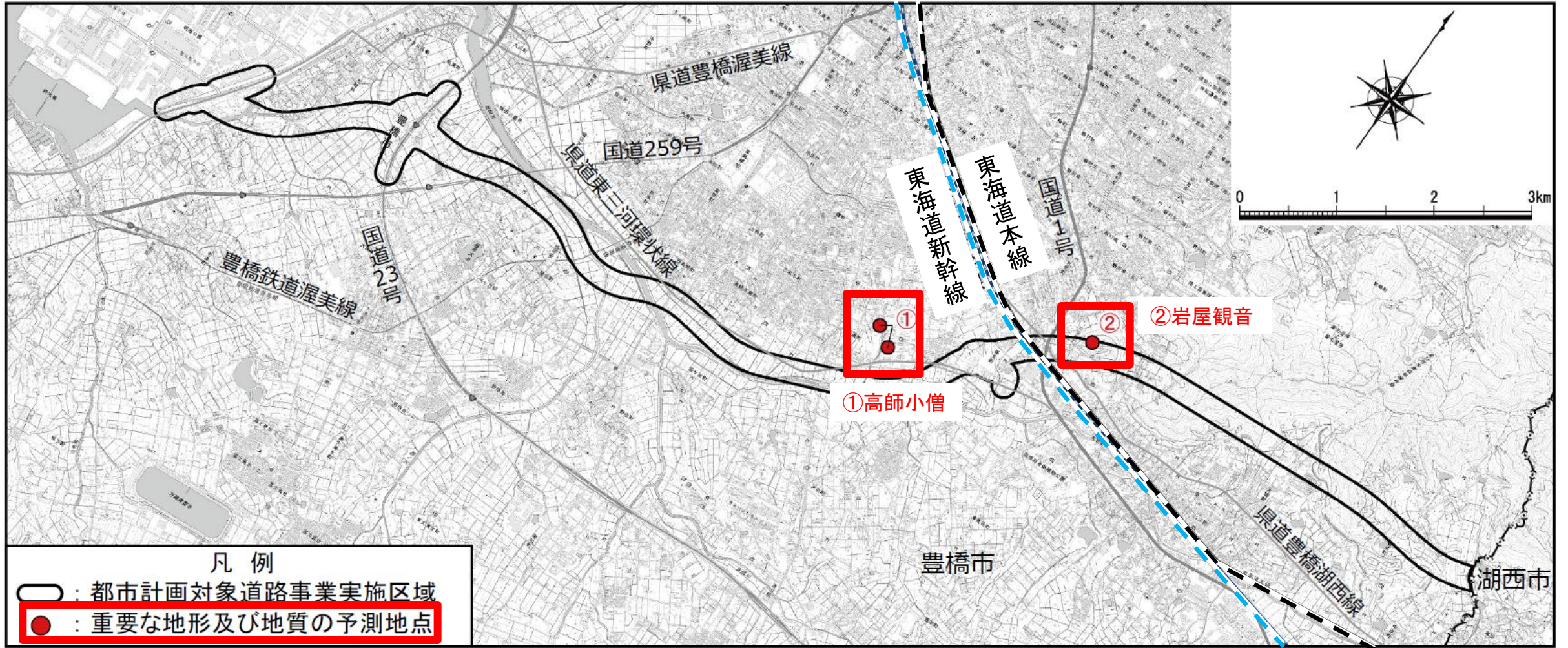
番号	地点名	湧水量 [L/min]			変化幅 [L/min]	影響割合 [%]
		工事前	工事中	供用後		
2	湧水量 1	109.6	77.2	76.5	-33.1	30
3	湧水量 2	31.9	28.9	25.3	-6.6	21



- 一部の河川で流量の低下が予測されるため、環境保全措置として「観測修正法による最適な工法の採用」を実施することにより、河川への影響をできる限り回避又は低減します。

番号	地点名	流量 [L/min]			変化幅 [L/min]	影響割合 [%]
		工事前	工事中	供用後		
1	半尻川	398.9	398.8	398.8	-0.1	0.03
2	新橋川	1,054.0	991.0	983.2	-70.8	7

地形及び地質の予測地点 パンフレット:P8・上



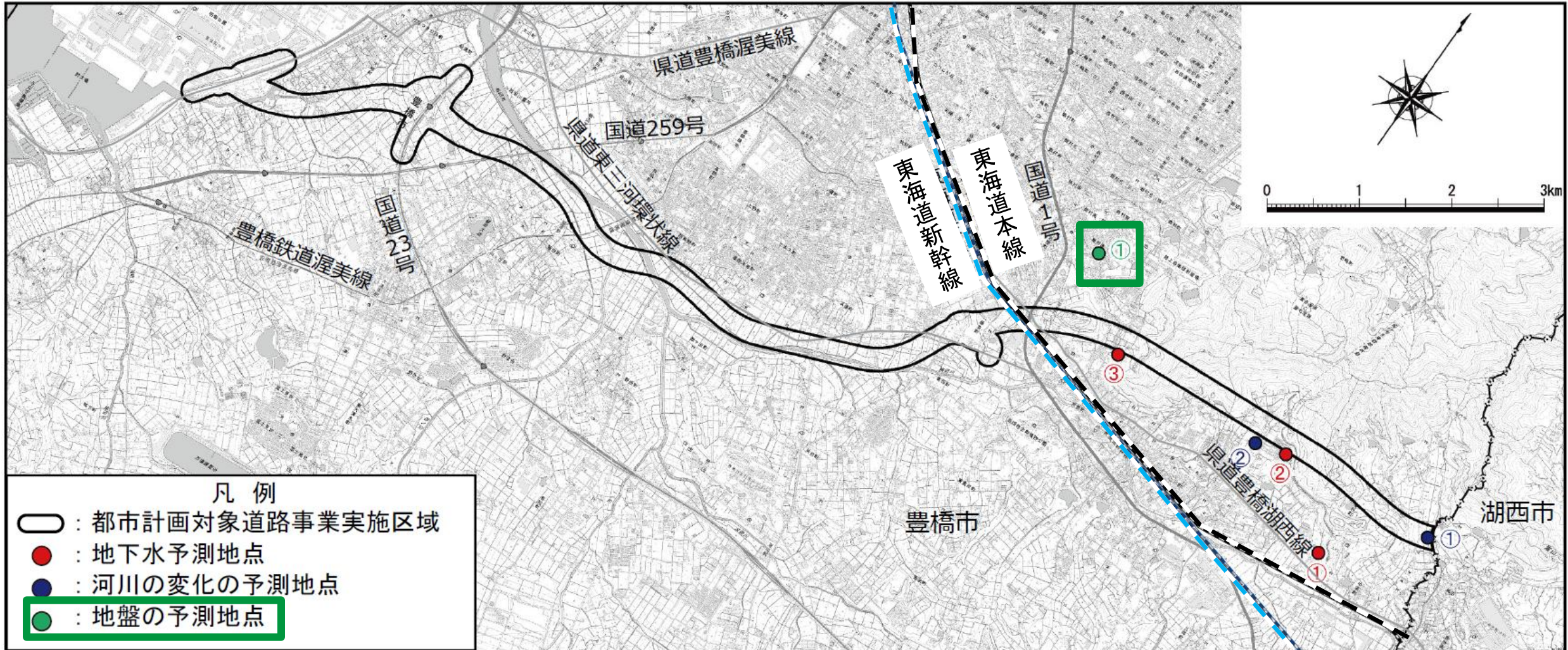
- 重要な地形及び地質である「高師小僧」「岩屋観音・火打坂」の改変はないことから、地形及び地質への影響はないと予測されます。



「高師小僧」指定地である浜池公園の標本



岩屋観音・火打坂における
重要な地質要素(チャート)の露出部



- 地盤への影響は、地盤沈下が最大となる想定条件を設定して算出すると、下表の地盤沈下が発生すると予測されます。

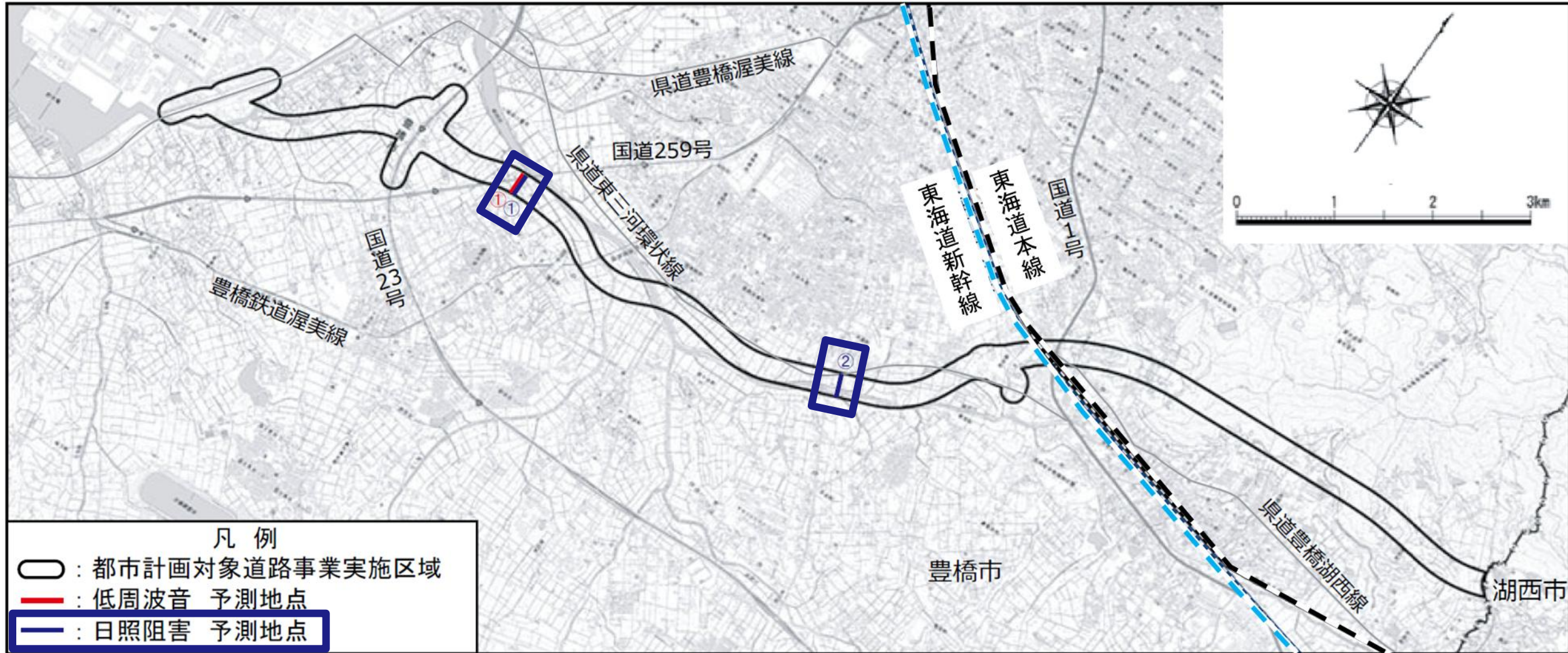
このため、環境保全措置として「観測修正法による最適な工法の採用」を実施することにより、地盤への影響をできる限り回避又は低減します。

(工事中)	予測地点 No.	粘土層 上面 (GL-m)	粘土層 層厚 H(m)	圧縮 指数 Cc	間隙比 e	水位 低下量 (m)	各層 沈下量 (cm)	沈下量 合計 (cm)
	1	3.7	5.0	0.6	1.2	0.272	2.961	4.226
15.9		1.2	0.3	0.7	0.272	0.186		
20.5		8.1	0.4	0.9	0.272	1.079		

(供用後)	予測地点 No.	粘土層 上面 (GL-m)	粘土層 層厚 H(m)	圧縮 指数 Cc	間隙比 e	水位 低下量 (m)	各層 沈下量 (cm)	沈下量 合計 (cm)
	1	3.7	5.0	0.6	1.2	0.273	2.975	4.247
15.9		1.2	0.3	0.7	0.273	0.187		
20.5		8.1	0.4	0.9	0.273	1.085		

日照障害の予測地点

パンフレット:P7・下



- 日照阻害への影響は、環境保全措置として「高架構造物の上下部工の形式・配置等の工夫」を実施することにより、環境影響をできる限り回避又は低減します。
- 日影時間が参考値を超過する住居においては、「公共施設の設置に起因する日陰により生ずる損害等に係る費用負担について」に基づき、適切に対処します。

番号	予測地点		予測高さ	高架構造物設置後の日影時間	参考となる値
1	豊橋市植田町	北側	1階 (1.5m)	4時間以上	1階で 4時間
2	豊橋市浜道町	北側		3時間未満	

動物の予測結果

パンフレット:P17

- 動物の重要な種について、地下水に依存する種は確認されていないこと、一部の河川等が影響を受けても同様の水辺の生息環境は広く残存すること、土工部には横断構造物が設置され、生息環境を広く移動する種の移動経路は確保されることから、動物への影響は極めて小さいと予測されます。

項目	確認種数	重要な種
哺乳類	6目15科21種	コキクガシラコウモリ(ニホンコキクガシラコウモリ)、キクガシラコウモリ、モモジロコウモリ、ノウサギ、ニホンリス、カヤネズミ、アナグマ、カモシカ (8種)
鳥類	15目38科117種	オシドリ、トモエガモ、ミコアイサ、ゴイサギ、ササゴイ、チュウサギ、ヒクイナ、バン、ツツドリ、ケリ、イカルチドリ、ヤマシギ、タカブシギ、ミサゴ、ハチクマ、チュウヒ、ハイイロチュウヒ、ツミ、ハイタカ、オオタカ、サシバ、クマタカ、フクロウ、ハヤブサ、サンショウクイ、サンコウチョウ、コシアカツバメ、ノビタキ、ビンズイ、ホオアカ (30種)
両生類	1目5科10種	アズマヒキガエル、ニホンアカガエル、ネバタゴガエル、トノサマガエル、ナゴヤダルマガエル、ツチガエル (6種)
爬虫類	2目8科14種	ニホンイシガメ、クサガメ、ニホンスッポン、ニホンヤモリ、ヒガシニホントカゲ、シロマダラ、ヤマカガシ (7種)
魚類	11目21科45種	ニホンウナギ、カワムツ、タモロコ、ドジョウ、ミナミメダカ、ウツセミカジカ(淡水性両側回遊型)、イドミズハゼ(イドミズハゼ種群)、トビハゼ、マサゴハゼ、カワヨシノボリ、ビリンゴ、エドハゼ (12種)

項目	確認種数	重要な種
底生動物	41目138科282種	マルタニシ、ウミニナ、イボウミニナ、タケノコカワニナ、フトヘナタリガイ、ヘナタリガイ、カワグチツボ、クリイロカワザンショウガイ、ヒナタムシヤドリカワザンショウガイ、ヨシダカワザンショウガイ、エドガワミズゴマツボ、ヒガタヨコイトカケギリガイ、シゲヤスイトカケギリガイ、ヌカルミクチキレガイ、オカミミガイ、キヌカツギハマシイノミガイ、ヒラマキミズマイマイ、ヒラマキガイモドキ、ナガオカモノアラガイ、ヌマガイ、ウネナシトマヤガイ、ヤマトシジミ、ハマグリ、ユウシオガイ、クチバガイ、ソトオリガイ、オヤイツオキナガイ、イトメ、ウモレベンケイガニ、クシテガニ、ベンケイガニ、ハマガニ、エサキアメンボ、コオイムシ、ヒメタイコウチ、オオマルケシゲンゴロウ、コガムシ (37種)
昆虫類	21目249科1192種	マイコアカネ、オオゴキブリ、オオアメンボ、コオイムシ、ヒメタイコウチ、ヒメジャノメ、サトキマダラヒカゲ、コガムシ、ヘイケボタル、トゲアリ、ヤマトアシナガバチ、モンズメバチ (12種)*
陸産貝類	3目17科47種	オカミミガイ、キヌカツギハマシイノミガイ、ナガオカモノアラガイ、ヒラドマルナタネガイ、ミカワギセル、イボイボナメクジ、ウメムラシタラガイ、オオウエキビ、ウラウズタカキビ、ヒメカサキビ (10種)
クモ類	1目29科130種	キノボリトタテグモ、オニグモ、コガネグモ、シロオビトリノフンダマシ、ツシマトリノフンダマシ、カコウコモリグモ (6種)

動物の写真:重要な種の例

パンフレット:P17



ケリ



ナゴヤダルマガエル



ニホンスッポン



ミナミメダカ



モンスズメバチ



ナガオカモノアラガイ

- 植物の重要な種及び群落について、一部の範囲においては、トンネル工事の実施に伴う湧水量や河川流量の減少が懸念されますが、同様の水辺の生息環境は広く残存することから、影響は極めて小さいと予測されます。

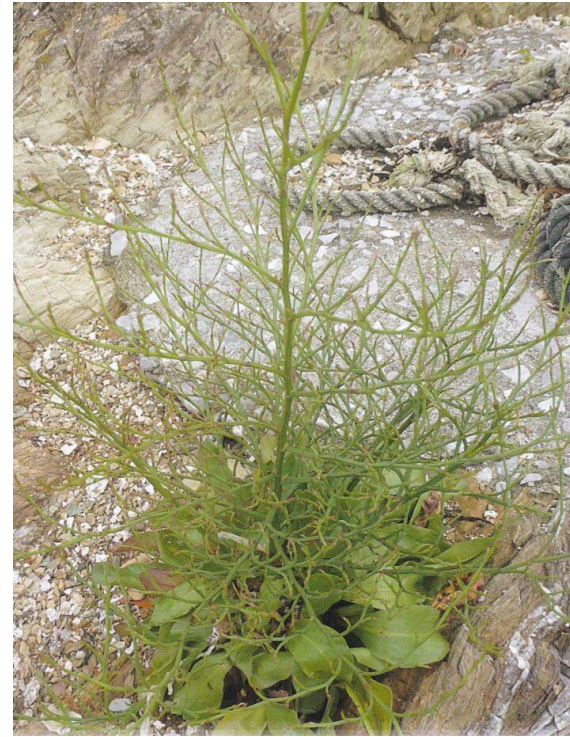
項目	確認種数	重要な種
植物相	154科937種	マツバラシ、イワタカンアオイ、トチカガミ、シバナ、ミカワバイケイソウ、キンラン、アキザキヤツシロラン、クロヤツシロラン、ウスギムヨウラン、コ克蘭、チャボイ、ヒメコヌカグサ、ヒメミソハギ、ウスゲチョウジタデ、ハマボウ、ハマサジ、ホソバハマアカザ、ハマアカザ、ハママツナ、ノジトラノオ、ナガボナツハゼ、カワヂシャ、タニジャコウソウ、スズメノハコベ、ウラギク (25種)
植物群落	30群落	—



シバナ



カワヂシャ

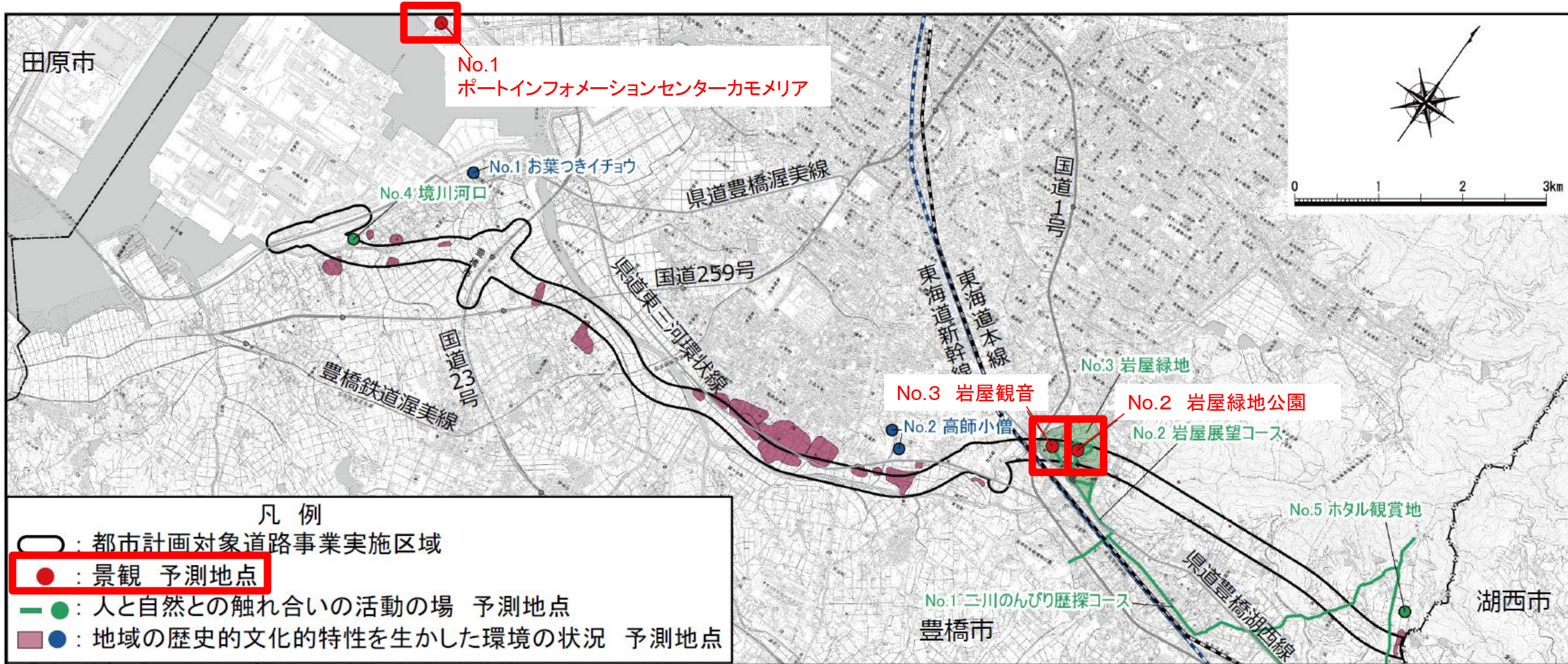


ハマサジ

- 生態系の注目種等について、工事車両の運行ルートは既存の幹線道路を極力利用すること、生息環境を広く移動する種の移動経路は確保されることから、影響は極めて小さいと予測されます。

区分	注目種・群集	地域を特徴づける生態系ごとの分布状況				
		山地 - 樹林主体	台地 - 農耕地	台地・低地 - 市街地	低地・干潟 - 干拓地	
上位性	キツネ	哺乳類	●	●		●
	オオタカ	鳥類 (猛禽類)	●	●	●	
	サギ類 (ダイサギ、アオサギ)	鳥類		●		●
典型性	アカネズミ	哺乳類	●	●	●	
	タヌキ	哺乳類	●	●	●	●
	カラ類 (ヤマガラ、シジュウカラ)	鳥類	●	●		●
	カルガモ	鳥類		●		
	ホオジロ	鳥類	●	●	●	●
	ニホンアマガエル	両生類	●	●		●
	ニホンカナヘビ	爬虫類		●	●	●
	ヒガシニホントカゲ	爬虫類	●	●	●	
	オイカワ	魚類	●	●		
	マハゼ	魚類		●		●
	アゲハ	昆虫類		●	●	●

区分	注目種・群集	地域を特徴づける生態系ごとの分布状況					
		山地 - 樹林主体	台地 - 農耕地	台地・低地 - 市街地	低地・干潟 - 干拓地		
	カラスアゲハ	昆虫類		●			
	モンキアゲハ	昆虫類	●	●	●	●	
	イチモンジセセリ	昆虫類		●	●	●	
	ゲンジボタル	昆虫類	●				
	シオカラトンボ	昆虫類		●	●	●	
	ノコギリクワガタ	昆虫類	●			●	
	ミドリシジミ類 (ミドリシジミ、ウラゴマダラシジミ)	昆虫類	●				
	特殊性	シギ類 (イソシギ、キアシシギ)	鳥類				●
		イカルチドリ	鳥類				●
		シバナ	植物				●
アイアシ		植物				●	
	ヒメタイコウチ	昆虫類	●	●			



- 主要な眺望点及び景観資源への影響は、極めて小さいと予測されます。
- 主要な眺望景観については、対象道路と重ね合わせた結果、極めて小さいと予測されます。

景観① ポートインフォメーションセンターカモメリアからの眺望

パンフレット:P19

〈現況〉



〈完成後〉 対象道路が見える範囲



景観② 岩屋緑地公園からの眺望

パンフレット：P19

〈現況〉



〈完成後〉 対象道路が見える範囲



景観③ 岩屋観音からの眺望

パンフレット：P19

〈現況〉



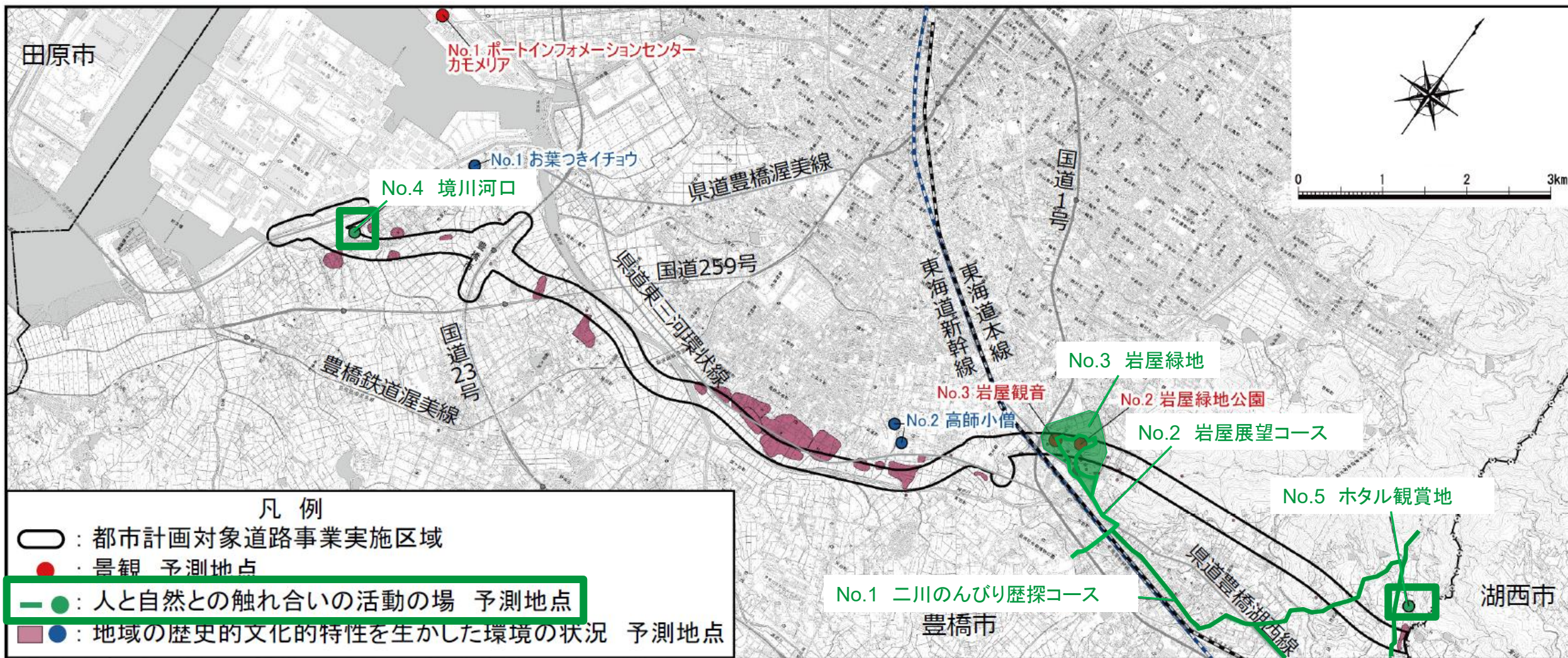
〈完成後〉

対象道路が見える範囲



人と自然との触れ合いの活動の場の調査地点

パンフレット:P8・下



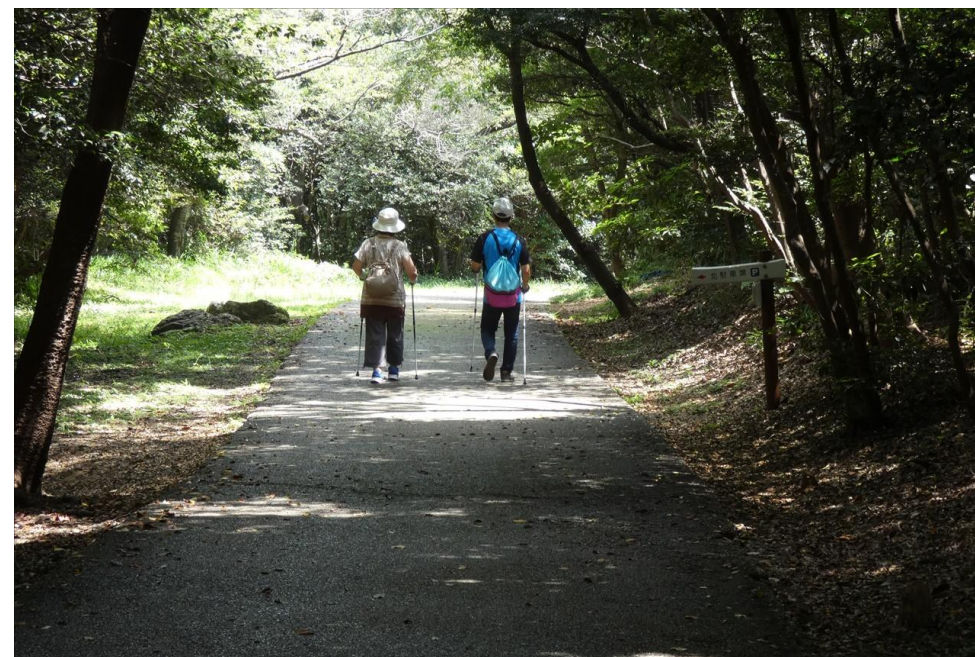
人と自然との触れ合いの活動の場-1

パンフレット：P20

- 改変の程度、利用性、快適性の変化は小さい又はないことから、人と自然との触れ合いの活動の場への影響はない又は極めて小さいと予測されます。



二川のんびり歴探コース



岩屋緑地

人と自然との触れ合いの活動の場-2

パンフレット：P20

- 野鳥の観察場所である「境川河口」について、自動車の走行に伴う騒音の影響は極めて小さいことから、人と自然との触れ合いの活動の場への影響は極めて小さいと予測されます。



境川河口

地域の歴史的文化的特性を生かした環境の状況の調査地点

パンフレット:P8・下



地域の歴史的文化的特性を生かした環境の状況の予測結果

パンフレット：P20

- 地域の歴史的文化的特性を生かした環境の状況について、天然記念物「お葉つきイチヨウ」「高師小僧」の改変はないことから、環境影響はないと予測されます。
- 埋蔵文化財包蔵地の一部を改変することから、環境保全措置として「文化財保護法に基づく適切な措置」を実施し、環境影響をできる限り回避又は低減します。



お葉つきイチヨウの確認状況



「高師小僧」指定地である浜池公園の標本

種類	発生量(予測値)
建設発生土	1,916.2千m ³
建設汚泥	5.1千m ³
コンクリート塊	0.5千m ³
アスファルト・ コンクリート塊	1.9千m ³

【環境保全措置】

- ①工事間流用の促進
- ②再資源化施設への搬入等による他事業等での利用

種類	排出量(予測値)
二酸化炭素	約42,991 tCO ₂

【環境保全措置】

- ①工事従事者に対する建設機械の省エネルギー運転の指導
- ②工事従事者に対する工事用車両のエコドライブの指導

- 地下水の水位、河川、地盤については、予測地域における地下水の水位や河川の流量、地盤の状況が十分に明らかでなく、予測の不確実性が考えられることから、事後調査を行います。

- ・事後調査の概要については、下表に示す内容を基本とし、専門家等の指導・助言を受け、調査を行います。

調査項目	調査手法	調査範囲	調査時期及び期間
地下水位の状況	地下水位の観測	トンネル区間周辺の井戸等	工事前～工事期間中及び工事完了後3年間 (月1回または連続観測)
	湧水量の観測	トンネル区間周辺の湧水等	工事前～工事期間中及び工事完了後3年間 (月1回)

調査項目	調査手法	調査範囲	調査時期及び期間
地盤沈下の状況	測量による沈下量の観測	トンネル区間周辺の住居	工事前～工事期間中及び工事完了後3年間 (年1回以上*)

調査項目	調査手法	調査範囲	調査時期及び期間
河川の流量	河川の流量の観測	トンネル区間周辺の利水のある河川及び沢	工事前～工事期間中及び工事完了後3年間 (月1回)

※事後調査の結果、環境影響の程度が著しいことが明らかになった場合には、事業者が関係機関と協議し、必要に応じて専門家等の指導・助言を得て追加調査等を行い、適切な措置を講じます。

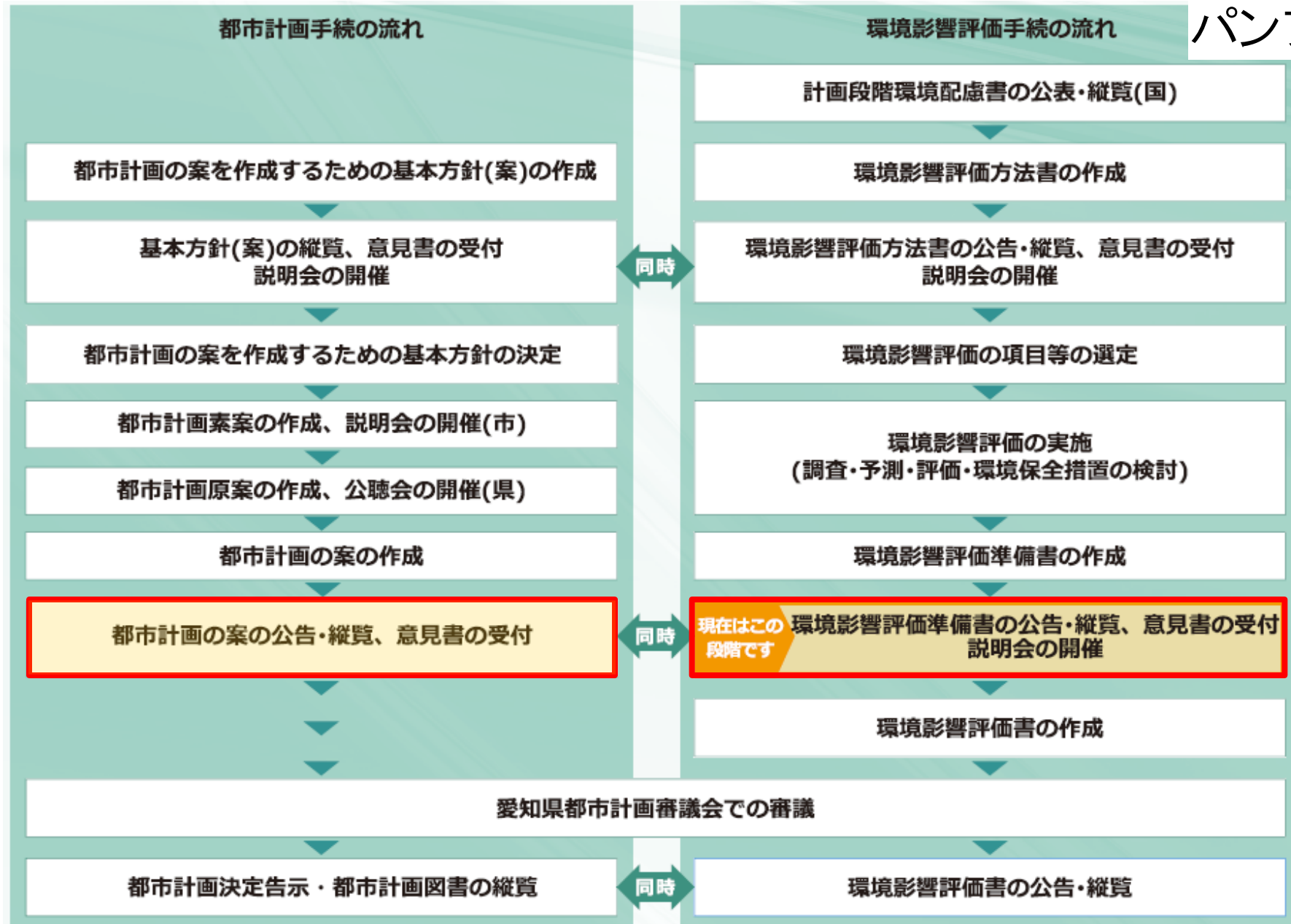
- 本環境影響評価では、環境要素18項目を選定し、調査、予測及び評価を行いました。
- 評価については、「事業者により実行可能な範囲内でできる限り回避又は低減されており、必要に応じその他の方法により、環境保全への配慮が適正になれているかどうか」、「法令等で定められている基準又は目標と、調査及び予測の結果との間に整合がとれているかどうか」について評価しました。

- 対象道路のルート位置の検討段階から環境保全に配慮しており、各環境要素について事業者が実施可能な範囲内で環境保全措置を実施することにより、対象道路が周辺に及ぼす影響についてできる限り回避又は低減が図られています。
- 地下水の水位、河川、地盤については、専門家等の指導・助言を受けて事後調査を実施し、必要に応じて適切な措置を実施します。
- 以上のことから、対象道路に係る環境の保全についての配慮が適正になされていると評価します。

- なお、今後の工事計画等の詳細な検討にあたっては、環境影響評価の結果に基づき、環境保全に十分配慮して行うものとしします。
- さらに、工事中及び供用後において現段階で予測し得なかった環境保全上の問題が生じた場合には、関係法令に基づき、環境に及ぼす影響について調査し、必要に応じて適切な措置を実施することとしします。

環境影響評価準備書・都市計画の案の縦覧・意見書について

パンフレット：裏面



ご清聴ありがとうございました。